

生徒会テーマ：感謝 ～「ありがとう」で溢れる学校へ～ 創立50周年記念式典を開催しました！

9月16日（日）、さわやかな秋空のもと、佐世保市長 朝長則男様、佐世保市教育委員会教育長 西本眞也様はじめ、多数のご来賓の皆様や地域・保護者の皆様をお迎えし、50周年記念式典を盛大に挙行することができました。これも昨年度から前育友会長である永田実行委員長を中心に、育友会OBの皆様や現育友会役員の皆様が、骨身を惜しんで取り組んでいただいたおかげです。また、東明中のキャラクター「ひま丸」の生みの親である川島彩花さんや50周年記念パネルを制作してくれた美術部の皆さん 本当にありがとう。それぞれの皆さんの豊かな創造力と長い時間を割いて本校のために尽力してくれたその母校愛に深く感謝しています。併せて、式後には体育館内でバザーを開催しました。スタッフそして商品購入にご協力いただいた皆様 本当にありがとうございました。



さて、当日諸事情で出席できなかった保護者の方々もいらっしゃいますので、式辞を掲載いたします。ご一読いただければ幸いです。

透き通るような明るい青空が広がり さわやかな秋の訪れを感じる今日の佳き日に 佐世保市長 朝長則男様 佐世保市教育委員会教育長 西本眞也様 本校育友会長 村井修治様はじめ 多数のご来賓の皆様にご臨席を賜り 佐世保市立東明中学校五十周年記念式典が挙行できますことに心より厚くお礼申し上げます 本当にありがとうございます

さて 本校は昭和43年4月 針尾中学校と江上中学校の統合により創立されました 校名の由来は色々と言議されたようですが「東の方から学問は開けた 教育は東から」ということから最終的に『東明中学校』と名付けられたと沿革史に記されています また 校章は「明るく すなおで たくましく」の校訓をもとに 美術科担当であった当時の松永市雄教頭先生の手によって「ひまわり」を模った校章ができあがりしました しかし まだ当時は校舎が建設されてなく 1回生の皆様は針尾・江上の両校舎で過ごすこととなり 卒業式は両校舎で別々に実施されました その後 育友会の方々が教育のことは先生方をお願いして 環境づくりは自分たちの手でやろうと「佐世保市のモデルスクールに」を合い言葉に 延べ1500名におよぶ人々の手で石が運ばれ 築山ができ 木が植えられ 立派な環境が整ったということです しかしながら 2回生の皆様におかれましても校舎には移られましたが 特別教室も体育館もなく 始業式は各教室で放送を使って 入学式は今の音楽室のある場所において青空天井のもと実施され 卒業式も雨天のため2階の廊下を使用し挙行されたとのことでした 3年目に入りようやく体育館などができあがり 卒業式も体育館で行われたとのことでした そのようなご苦労がしのばれるなか平成22年3月には 現在の体育館が建設され 平成24年にはプールが 翌年には運動場の拡張工事も終了し 子どもたちには恵まれたすばらしい教育環境を提供していただいております

この50年という歴史の積み重ねのなかで 卒業生は5500名を数え まさに日本を支える立場で各界各層におきまして 活躍されています そして 何よりも創立以来 歴代の校長先生方 教職員の熱意と努力により本校の教育活動の充実が推進されました また 育友会や地域の方々のご支援やご協力により今日の本校の発展があります まさしく地域・家庭・学校が一丸となり 子どもたちの教育に情熱をもって真摯に取り組んでいただいたことに 心より深く感謝申し上げます

さて現在 全ての中学校において 学習指導要領の2021年度からの全面実施を受け 予測困難な時代に一人一人が未来の創り手となるよう 校内研修をはじめ日々研鑽に励んでいるところです 「何が

できるようになるか」「何を学ぶか」「どのように学ぶか」 一見単純な三つの言葉のようですが その一つ一つの内包する意味は深く 一人一人の教師がしっかりと理解し 教育活動に生かしていくためには十分な研修が必要です 本校では 主体的・対話的で深い学びの実現に向けて 昨年度から「学びの共同体」を導入し 授業改善に取り組んでいるところです まだ取り組んで日が浅いため 十分な成果は収められていませんが 私たち自身が常に課題意識をもち 子どもたちの未来のために取り組んで参ります

歴史をさかのぼると 近世佐世保の教育・文化の礎となる 楠本端山・碩水兄弟を 針尾島から輩出しています 両兄弟の思想や学問は藩政や一般庶民へ多大な影響を与え その子弟の数は千数百人に及んだといわれています このような地で教育に携われることに感謝し 佐世保を誇りに思い 佐世保の発展に貢献できる人材の育成を目指し より一層教育に勤しんで参ります

また 本校校訓の「明るく すなおで たくましく」の具現化に向け 4月当初から「正直ものが馬鹿を見るような学校にしないこと」「心をきたえて 学校からいじめをださないこと」を合言葉に「心の教育」の充実に努めているところです 様々な学校行事を通して友人とともに汗を流し感動や達成感を味わわせることで コミュニケーション能力を磨き 相手の気持ちをすなおに考えることのできる心の育成に取り組んでいきます そして「いじめ」の根絶をはじめ すべての人々が偏見に苦しむことのない社会づくりを目指して参ります

結びに「夢 憧れ 志」をもって 若者が未来に羽ばたくことのできる社会となることを切に願いますとともに 前途洋々たる子どもたちが真摯に学び 自らを向上させることができますよう わたくしをはじめ教職員一同は全力で教育活動に邁進いたします ご来賓の皆様 地域の皆様 育友会・保護者の皆様の温かいご支援とご協力をいただき この歴史と伝統のある東明中学校を ますますすばらしい学校として育てていただきますようお願い申し上げます 意は尽くせませんがすべての方に「感謝」を申し上げます 式辞といたします ありがとうございました



【1年生:ふるさと歴史発見 2年生:職場体験学習 3年生:修学旅行 が終了しました】

9月の第2週目に、標記の学校行事を実施しました。大きな事故やけがなく終了したことに安心しております。特に、修学旅行においては、前日まで台風21号の影響が懸念され、十分な研修ができないのではと心配されました。やはり大阪や京都の町では台風の生々しい被害を目の当たりにするところもありましたが、交通機関も順調に運行し充実した3日間となりました。旅行中の詳細は各家庭でお子様から聞いていただければと思います。



2年生の職場体験学習においては、37の事業所において「働くこと」の体験を行いました。キャリア教育の一環として実施しているところですが、中学校卒業後の進路だけでなく、社会へ出てからも対応できる力を育むための大事な体験学習です。短い期間ではありますが、働くことの楽しさ・やりがいや厳しさを味わえたものと思います。各事業所の皆様には大変お世話になりました。ありがとうございました。

1年生のふるさと発見学習とは、身近な地域の歴史的建造物や遺跡、また伝統工芸やその生産品を、まじかに見学することで、郷土を学び・知り、郷土を愛する心を育む取組です。佐世保にしながら中々地域のことを知らないのが現状です。子どもたちの社会勉強として一翼を担う大事な活動です。

